

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 第3回コア会議議事録

日 時：令和6年9月12日（木）14:00～16:15

会 場：桐生市総合福祉センター102 会議室

<参加者> 11名（別紙参加者名簿参照）＋実習生2名

<司会> 松井さん

1 挨拶：松井さん

最後のコア会議になり、今日である程度形にしていくことになる。前回までの会議とすり合わせしながらすすめていきましょう。

2 配布資料確認：小川

3 議事

(1) 認知症ケアパス A4 版素案について…小川

① 各ページの掲載内容について（前回までの会議を踏まえ、各ページについて文言を確認、内容を確定していく）

*修正点 ・ご意見 ◎まとめ

表紙

*文字はゴシック体を使用（ユニバーサルデザイン）タイトルのデザインにあわせ修正していく。

目次は残し、フレームははずす予定。

・タイトルはどう決めるのか？→メンバーのみなさんからご意見いただき、次回会議にはタイトルの入ったものを準備する予定。

認知症の基礎知識 P1-2

*中核症状、周辺症状を入れ、診察時説明しやすくする

*グラフの追加（2023年認知症初期集中支援チーム員研修テキストのものをいれる）

*グラフと説明の色をあわせ見やすく、説明しやすくしている

・軽度認知障害（MCI）の説明を入れるかどうか

→今後増えていくことを考慮すると入っていた方が使いやすい

・認知症の説明は1ページにまとまっていた方がよい … P2へまとめている

◎MCIの簡単な説明であれば入れられる。若年性認知症の枠を半分使用することを考えている

・中核症状、周辺症状の前に「認知症とは」のリード文を入れると流れがよい

（診察時説明しやすい）

・文字の多さが気になる → 取っ掛かりやすいものがあると次に読み進めやすい

(イラストを入れる等)

- ・「認知症ともの忘れの違い」「認知症と間違われやすい病気」も入れたい
- ◎各説明の枠、文字が小さくなる可能性あり。文字の大きさを考慮し、どこまでの情報を入れていくかを考える

- ・新たに入れた「中核症状とは、周辺症状とは」の文面について
神経細胞が壊れる→別の言い回しへ
記憶障害 →P9に「記憶力の低下」の記載あり。「記憶力の低下」に統一する

◎P1:「リード文」「中核症状、周辺症状」「グラフ」「認知症ともの忘れの違い」

P2:「認知症の説明」(MCIも含む)

◎「認知症ともの忘れの違い」の外枠については、デザイン上で調整可能

◎イラストも入れてみる

チェックリスト P3

- * 変更出来ないものなのでイラストを入れて完成としたい

フローチャート P4

- * 上段 内を箇条書きに変更したことで、矢印が一方方向となったため
優先度の高い左側から、地域包括支援センター・かかりつけ医・在宅医療介護連携センターと位置を変更
- * 青文字はデータ上では、リンクできるようにしている

早期受診のススメ P5

- * タイトル「早期診断」の削除
- * 文面中早期の多用 → はやめに

- ・ 医師より：これをきっかけにしてほしい
家族だけの相談も実際あるのでいいと思う

◎「早期」かたい印象なのでやわらかい雰囲気になるような言葉で（早めに などがよい）

◎診断は医師が行うので、早期受診のススメにする

受診のポイント P6

- * 「症状」を使わず、文面の調整をした
- * レイアウトを大きく変更
自由欄：上部に移動し前回より記載欄を大きくする
文面を「医師に伝えたいこと、心配なことや不安なことをご記入ください」へ変更
症状記載欄：下部へ移動し欄を1段削る（大きさは？）質問形式へ表現を変える

- ・配置はよい
- ・症状記載欄の「何時頃のことですか」は右側に移動。必要な時だけチェックを入れられるような形にする（無理に書かなくてもいいように）
- ・初期の相談で、時間帯のことは大きな要素ではないので、記載欄「何時頃のことですか」は削除してもよいのではないか
- ・気にする方は記入欄に記載するので、記載欄が広い方がよい

◎「何時頃のことですか」は削除する。医療職の意見も確認し決定する。

◎「受診時のポイント」下部リード文について

「気になること、大変なことをまとめておきましょう」を削除し、イラスト部分の「医師に普段の様子を伝えることが重要です」を移動する

認知症ケアパス P7-8

*変更項目

医療： かかりつけ医は初期から中期以降までかかるため、バー形式へ変更
位置の検討

住まい： 入所も含め、「自宅以外に住み替える」にまとめる

介護者・家族： 介護者をヘルパーと想像してしまうのですべて「家族」とする

◎「症状」→ 言い方がかたいので「本人のようす」へ変更

◎「家族」→ 家族と断定してよいのか。身寄りのない方の場合はどうするのか
検討の結果「家族など」へ変更

・項目の順番について

◎1.本人のようす 2.家族など 3.社会参加 4.見守り 5.医療 6.介護 7.住まい 8.その他
→全体会議で確認

・「サービス早見表」「どんなサービスがあるのか確認しましょう」はなくてもよいのではないか
サービスの言葉は誤認される可能性あり

◎「サービス早見表」「どんなサービスがあるのか確認しましょう」を削除、下段に掲載の「ケアパスとは」、QRコードを移動する

◎表紙の目次、「認知症ケアパス（サービス早見表）」の（サービス早見表）を削除する

認知症の症状とまわりの人が心がけること P9

*前回の P9-10 を 1 ページに集約し P9 へ

前回の P11 を P10 へ記載

*家族視点での表現にしている

- ・書き方の表現について

言い切るとやわらかくならない、ヒントを散りばめる

◎最後の文脈を「〇〇が大切です」と揃えて作成し、表現を工夫してみる

認知症の人への接し方のポイント P10 認知症サポーター養成講座テキストより抜粋

◎吉村医師よりアドバイス：リード文は不要 → リード文を削除した

◎現状のものを使用

予防について P11 水戸市認知症ケアパス参照し、桐生・みどりの資源をいれている

◎吉村医師よりアドバイス：「予防」は漠然としているので「進行予防」がよいのではないか

→「進行予防について」へ変更

◎今回の修正したもので、認知症認定看護師より助言をいただく

→専門職の意見で、若干の変更の可能性あり

本人の声 P12

*裏表紙のものを移動

*ぐんま希望大使である橋本さん、ご家族に確認、詳細は後日調整となる

(写真掲載、インタビュー、署名等)

・励まし、ケアパス説明に使えるものとなる

桐生市・みどり市の認知症について相談窓口一覧 P13-14

◎両市担当地区の確認

→今年度と来年度で変更となるので、再度確認する

◎見やすくするため、センター名の欄（センター名、電話、住所）内側の罫線を消す

裏表紙

◎プロジェクトチームの名前を入れることも可能

→入れずにシンプルに仕上げる

② 配色及びデザインについて

◎やわらかいイメージで

・文字：今使っている文字がやわらかくて見やすい

→このゴシックを使用する（ユニバーサルデザイン）

・色味：若草色に白を足してデザインしている 印刷機で色が変わる可能性あり

→全体会議で色味チェックしていく

ページで色を変えられる

P1-2 グラフに色が入るので背景色はなし、または薄く色を入れる

リンクに飛ぶサイトは青色となる

- ・タイトルの文字は大きく
- ・中ページのタイトルの文字フォントのバランス調整

◎イラストについては事務局に一任させていただく

③ その他

- 1) 第3回会議を経て修正後、使用、活用してもらい、ご意見をいただく
→アンケート（チェック表）を作成し必要に応じ使用后チェックしてもらい修正する
- 2) タイトルの募集 … ひとり1点以上 締め切りはメールでお知らせする
第3回全体会議で協議する（メイン・サブタイトル）

(2) 認知症ケアパス 別冊：社会資源集について

松戸市ガイド附属ブックを参照に作成する

- ・項目に沿った形で作成 リンクで代用
リンクできないものあり
- ・エリアごとのサービス、距離感、マッチングのしやすさ … 掲載されているとよい
- ・医療と介護のお助けマップとの連携を相談している

4 その他

(1) 第3回全体会議の開催について

日程：令和6年10月24日／19:00～（予定）

会場：桐生メディカルセンター地下講堂（予定）

文責 田村